

当社は、平成22年12月期より決算日を8月31日から12月31日に変更しております。これに伴い、前連結会計年度は2010年9月1日から2010年12月31日までの4ヶ月となっております。

5 . 2011年12月期 本決算

注記

2010年1月～12月の期間数値及び対前年同期増減率は、当社の集計数値であり監査法人による監査を受けておりませんので予めご了承ください。

業績ハイライト

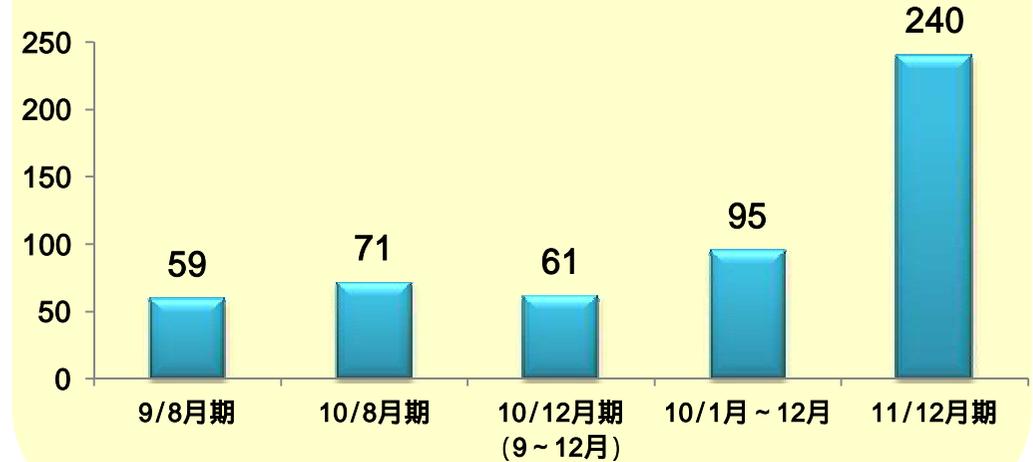
(単位:百万円)

売上高



(単位:百万円)

営業利益



(単位:百万円)

経常利益



(単位:百万円)

当期純利益



注記

2010年1月~12月の期間数値及び対前年同期増減率は、当社の集計数値であり監査法人による監査を受けておりませんので予めご了承ください。

Copyright©2012 Something Holdings Co.,Ltd. All rights reserved.

財務・キャッシュフローの状況

財務状況

2011年12月31日現在 (単位:百万円)

資産 3,952	負債 3,016
	純資産 936

キャッシュ・フロー

2011年12月31日現在 (単位:百万円)

営業CF	97
投資CF	27
財務CF	133
現金同等物残高	830

(単位:百万円)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
減価償却費	138
貸倒引当金の増加額(減少額)	52
賞与引当金増加額(減少額)	5
受取利息及び受取配当金	4
支払利息	30
売上債権減少額(増加額)	685
仕入債務の増加額(減少額)	334
利息の支払額	30
法人税等の支払額	35

(単位:百万円)

投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	58
無形固定資産の取得による支出	28
関係会社に対する貸付けによる支出	17
関係会社に対する貸付けの返済による収入	86
敷金の差入による支出	7

(単位:百万円)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	555
短期借入金の返済による支出	403
長期借入れによる収入	320
長期借入金の返済による支出	293
社債の償還による支出	100
ファイナンス・リース債務の返済による支出	36

(単位:千円)	10/8月期	10/12月期 4ヶ月間	11/12月期	前年同期比 (%)
流動資産	2,140,409	2,443,354	3,265,286	+33.6
固定資産	600,195	586,317	687,358	+17.2
資産合計	2,740,605	3,029,670	3,952,644	+30.5
流動負債	1,339,942	1,632,233	2,328,323	+42.6
固定負債	591,520	627,193	688,195	+9.7
負債合計	1,991,463	2,259,426	3,016,518	+33.5
純資産合計	749,142	770,245	936,126	+21.5

セグメント別：売上高

セグメント	10/8期 累計		10/12期 累計(4か月間)		2010年 1月～12月		11/12月期 累計		前年 同期比 (%)
	金額 (百万円)	構成 比 (%)	金額 (百万円)	構成 比 (%)	金額 (百万円)	構成 比 (%)	金額 (百万円)	構成 比 (%)	
地盤改良 事業	5,248	100	2,065	100	5,577	100	7,242	100	+29.9
保証事業	111	100	36	100	116	100	126	100	+9.0
その他の 事業	155	100	65	100	180	100	204	100	+13.2
合計	5,515	100	2,167	100	5,874	100	7,573	100	+28.9

(単位:百万 円)	10/8月期 累計	10/12月期 累計 (4ヶ月間)	2010年 1月～12月	11/12月期	前年 同期比 (%)
地盤改良工 事	4,265	1,576	4,439	6,038	+36.0
調査・測量	903	339	983	1,093	+11.2
その他	79	149	154	110	28.5
合計	5,248	2,065	5,577	7,242	+29.9

独自工法等の販売増加(前年同期+237.4%)

(単位:千円)	2010年 1月～12月	11/12月期	前年同期比 (%)
NSV・DM工法	222,352	527,775	+237.4

震災の影響による沈下修正工事の増加

(件数)	2010年 1月～12月	11/12月期	前年同期比 (%)
地盤改良工事	7,420	9,608	+29.5
調査・測量	20,773	26,263	+26.4

注記

2010年1月～12月の期間数値及び対前年同期増減率は、当社の集計数値であり監査法人による監査を受けておりませんので予めご了承ください。

(件数)	10/8 累計	10/12 累計 (4か月間)	2010年 1月～12月	11/12期	前年 同期比 (%)
THE LAND件数	9,055	3,141	9,338	10,524	+12.7
認定店経由	3,317	1,233	3,610	4,296	+19.0
サムシング経由	5,738	1,908	5,728	6,228	+8.7
認定店比率	36.6%	39.2%	38.6%	40.8%	+5.6
認定店数	73	72	76	83	+9.2

認定店とは……

当社子会社GIRの地盤専門講習を受講した地盤関連会社(調査・改良会社)フルオートのSS調査機での利用義務及び指定の施工管理装置を利用

23年5月 株式分割

【目的】 投資単位の引き下げ及び株式の流動性、投資家層の拡大

【概要】 普通株式1株を2株に分割

基準日:23年6月30日

効力発生日:23年7月1日

(分割前:7,948株 分割後:15,896株)

23年6月 ベトナム(ホーチミン)駐在員事務所の開設

~ 日本発の技術・ノウハウの海外展開の実現に向けて ~

【目的】グループの成長戦略の一環として、中期的に高い経済成長が期待が
高く、地盤改良事業において進出余地の可能性が高いと判断

現地法人設立の可能性を視野に、現地において住宅・不動産関連
企業の情報収集及び各種マーケティング活動

【概要】 名称:サムシングホールディングス株式会社 ホーチミン駐在員事務所(仮称)
(Something Holdings Co.,Ltd. Ho Chi Minh Representative Office)

開設日:平成 23 年7月1日

23年7月 新築住宅向け『セカンドオピニオン地盤保証サービス』開始

子会社のGIRが第三者保証機関として、中立的な立場から他社で行った地盤調査の結果を判定

【TV】

放送日:2月27日
会社名:サムシング
番組名:フジテレビ『Mr.サンデー』
内 容:地盤調査現場の取材

放送日:3月4日
会社名:サムシング
番組名:フジテレビ『とくダネ!』
内 容:地盤調査現場の取材

放送日:3月28日
会社名:サムシング
番組名:フジテレビ『とくダネ!』
内 容:地盤調査現場の取材

放送日:4月13日
会社名:サムシング
番組名:日本テレビ『スッキリ!』
内 容:地盤の液状化に関する情報提供

放送日:7月20日
会社名:サムシング
番組名:日本テレビ『news every』
内 容:液状化による住宅の沈下修正工事の取材

【新聞】

掲載日:6月9日
会社名:サムシング、GIR
新聞名:日刊木材新聞
内 容:地盤・液状化対策に関するサービスの紹介

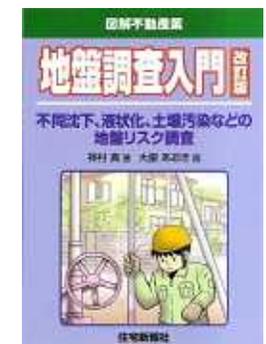
【雑誌】

発行日:6月22日
会社名:サムシング
番組名:日経ホームビルダー
内 容:液状化地域において、不同沈下が起こらなかった事例の紹介

【書籍】

タイトル:『誰も知らない地盤の真実』
発売日:2011年8月29日
著者名:当社代表 前 俊守

タイトル:『地盤調査入門 改訂版』
発売日:2011年7月
著者名:当社技術担当者 神村 真





6 . 2012年 ~ 2014年度 中期経営計画

中期ビジョン

サムシンググループは、地盤改良事業を中心とした
『住宅価値創造事業グループ』
を目指します

労働集約型から知識集約型へ
既存事業のドメイン拡大
(住宅業界における付加価値サービスを創造)
グループのシナジーによる企業成長

中期テーマ

『グローバル企業への成長』

地域密着でお客様の要望に、お応えし、最先端の
技術開発、グローバルな海外進出にて、グローバ
ルとローカルを併せ持つ企業へ成長します。

< 地盤改良事業 >

非住宅建築物(小型商業用店舗、介護施設等)の成長市場への
営業活動の強化

独自開発及び共同開発工法の販売拡大

顧客ニーズに合わせた低価格対応のため、ローコストオペレーション
の検討

「地盤の専門家」として、液状化対策への対応(施工体制の確立)

沈下修正工事の大規模な需要への対応

< 保証事業 >

販売網の強化

他社とのアライアンスを視野に入れた柔軟な販売戦略の推進

認定店ネットワークの拡大

< その他事業 >

(株)ユナイテッド・インスペクターズの住宅検査受託業務の売上拡大

住宅瑕疵担保責任保険の現場検査シェアアップ

ジオサイン(株)の電子認証サービスの販売拡大

2012年～2014年度 中期経営計画

(単位:千円)	12/12月期 (計画)	13/12月期 (計画)	14/12月期 (計画)
売上	9,100,000	10,500,000	12,000,000
(地盤改良事業)	8,753,500	10,130,000	11,585,000
(保証事業)	128,000	130,000	135,000
(その他の事業)	218,500	240,000	280,000
売上原価	6,691,000	7,700,000	8,760,000
(地盤改良事業)	6,439,000	7,437,000	8,470,000
(保証事業)	68,000	71,000	74,000
(その他の事業)	184,000	192,000	216,000
売上総利益	2,409,000	2,800,000	3,240,000
(地盤改良事業)	2,314,500	2,693,000	3,115,000
(保証事業)	56,500	59,000	61,000
(その他の事業)	38,000	48,000	64,000
販管費	2,109,000	2,400,000	2,700,000
営業利益	300,000	400,000	540,000
営業外収益	5,000	5,000	5,000
営業外費用	40,000	45,000	45,000
経常利益	265,000	360,000	500,000
当期純利益	211,300	210,000	293,500

	12/12月期末	13/12月期末	14/12月期末
人員計画	330名	360名	390名

ご清聴ありがとうございました。

IR 担当窓口

<http://www.sthd.co.jp>

サムシングホールディングス株式会社

部署：管理本部

氏名：笠原 篤

TEL：03-5566-5555

Mail：ir@sthd.co.jp

液状化対策等に対応した新たな地盤調査

<http://www.sthd.co.jp>

当社は、東日本大震災を教訓に独自開発を行なった液状化対策等のニーズに対応した、新たな地盤調査を開始致しました。

この方法により従来のスウェーデン式サウンディング試験では測定困難だった地盤の計測が可能となりました。(N値20、GL-20mなど)

戸建住宅においても、通常のボーリング調査同様に標準貫入試験を実施することで土試料のサンプリング(乱した試料)が出来るため、土試料の目視観察や室内土質試験を実施した液状化の判定が可能となり、液状化対策工の十分な検討が行なえます。

調査時間の短縮されることで、ローコスト化を実現。

標準貫入試験の深度と打撃回数を自動計測することにより、調査結果の信頼性、調査精度の向上を実現。

スウェーデン式サウンディング試験
(地盤調査機)



液状化対策地盤調査機

